



活動テーマ

団体の現在のテーマとして①多くの学生等が喫煙所として活用している場所は火災防止エリアであることの認知度を上げる。②そしてその場所を卒煙エリアとしてタバコを学内では吸わないようにしようという方向へとシフトさせる。この2つの働きを主に行ってきました。

活動内容・成果

今年度は主に3つの活動を行いました。

1. ティッシュ配りによる呼びかけ

これは前年度から継続して行っている活動です。学生オフィスや他団体と協力して食堂付近での呼びかけを行ったり、火災防止エリアの循環を行いそこにいる学生に話を聞いたりする活動です。キャンパスはタバコを吸うことを推奨していないことを多くの学生に知ってもらい、少しずつ学内喫煙を減少させる働きをしています。

2. 禁煙についてのプレゼン大会実施

これは学生からの意見を取り入れようと行ったものです。これにより学生の考えを知ることができ、火災防止エリアの在り方や卒煙についてのアプローチ方法を、全く新しい視点から検討することができました。

3. 日本禁煙学会の学術総会への参加

団体に所属している私たち自身がタバコについて何も知らなかつたら相手に伝えることもできない。と考えたため、この総会への参加を決定しました。ここでは、市の職員や病院の先生などの考え方や実際にしている活動について聞くことができました。また、同じ学生のポスター掲示などを見ることもできました。団体に所属する各々が受動喫煙等について知識を深めることができ、参加後にそれぞれの意見を言い合うことができたため、ここで得たことを今後の活動に生かせたらと考えます。

今年度の活動全体を通して、目に見える成果を上げることができていないため、

今後はそこに着目して活動を行うことが出ければと団員全員で試行錯誤しております。

今後の取り組み

活動内容・成果の最後でも述べたように、行ってきた活動に対して具体的に目に見える成果が出ていません。そのため、今年度行った活動の反省や経験を生かして、課題に対して団員1人1人が取り組みたいと思います。

また、来年度の報告で良い成果をお伝えできるよう尽力していきます。



復興応援団体 ANEMONE

①活動目的

東日本大震災や大阪北部地震などの大型災害によって被災された方がいちはやく安心して暮らせるために活動しています。



②活動内容

風化させないための写真展をお手伝いしたり実際に被災地に行き、復興のお手伝いをしたり地域のお祭りでブースを開いたり様々な活動をしています。



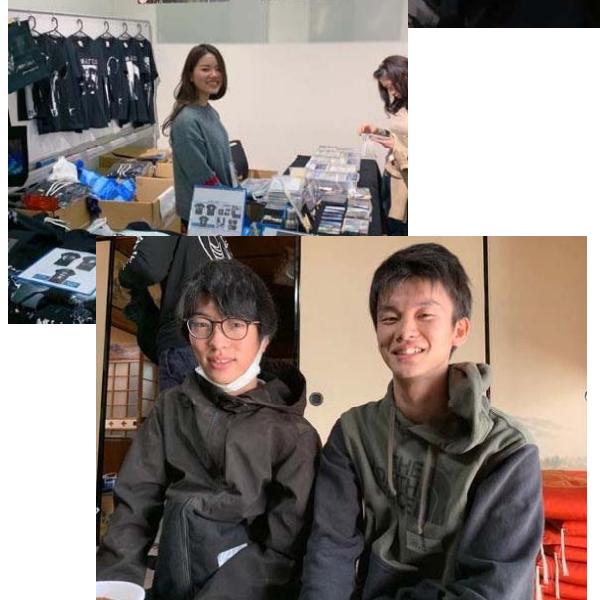
③活動の成果

最初は災害関連問題に興味がありませんでした。しかし様々な活動していく中でいろんな人に出会い、いろんな壁にぶち当たりました。その経験が成長できるきっかけになりました。他人事を自分事として考えることができるそんな人間になりました。



④今後の活動内容

災害は起こり続けるものです。復興にゴールはありません。今自分たちがするべきことを明確にしながら活動を続けていきます。



茨木市活性化 プロジェクト



茨木市の福祉施設にIoTを導入して
笑顔あふれる快適な福祉施設を！

IoTを導入されている、東京と北海道の福祉施設を
訪問させていただきました！



10月17日 in東京
アズハイム町田さんを訪問

ご入居者さんと介護士さんどちらの負担も減る「EGAO link」を導入されており、ご入居者さんからは笑顔が見られました！

ベッドの下にセンサーを設置し、ご入居者が睡眠しているか起きているか、熟睡しているかなどリアルタイムで情報を得ることが出来ます。介護士さんの深夜の巡回業務の負担がグッと減りました。



11月30日 in北海道釧路市
わたぼうしの家さんを訪問

富士通さん開発の音響センサーにより室内の見回り体制を強化し、夜間の運営コストを80%削減することを実現していました！

茨木ご当地ソフトクリームプロジェクト



どんな団体？

サッポロホールディングス株式会社、日世株式会社、立命館大学が、立命館大学大阪いばらきキャンパス開学を期に、茨木市のご当地ソフトクリームを作るプロジェクトです。ソフトクリームを通して、茨木市の活性化を目指したいと考えています。2018年度は、地域の方に喜んでもらい、今まで受けた茨木市からの恩を還元しようというテーマを持っていました。



どんなソフトクリーム？

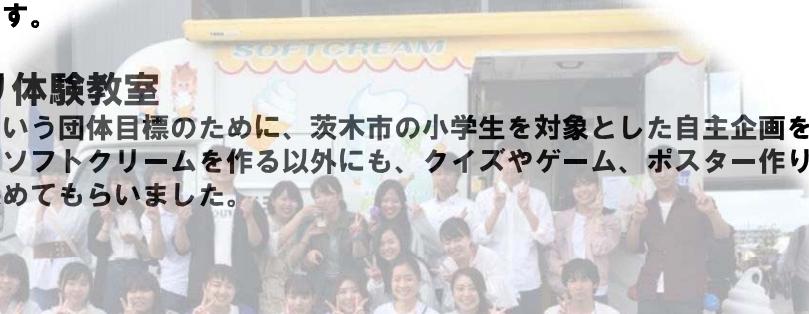
このプロジェクトの代表的なものは「バニラホップソフト」です。ピールにも使われている“ホップ”という香料を使用しており、爽やかな香りが特徴です。イベント以外でもOICにあるカフェ、ガーデンテラスライオンで販売していただいています。また、アジアウィークでは橋本フーズ株式会社のあんを使用した「あんこソフト」も販売し、ご好評いただきました。



何をしているの？

◎イベントでのソフトクリーム販売

茨木市のイベントにてソフトクリームの販売をしています。
OICキャンパスで行われた「いばらき立命DAY」には4年連続で出店させていただいております。
また、OICキャンパスで行われた「アジアウィーク」でも、生協さんの協力を得てソフトクリームを販売していただいております。



◎ソフトクリーム作り体験教室

地域の方に喜んでもらうという団体目標のために、茨木市の小学生を対象とした自主企画を行いました。子供たちにはソフトクリームを作る以外にも、クイズやゲーム、ポスター作りを楽しんでもらい、交流を深めてもらいました。

成果は？

ソフトクリーム作り体験教室という、自主企画を行ったことで、当初の目的であった、地域の方に喜んでもらうということを達成でき、子供たちの笑顔を生み出せました。
また、一方で団体としても機械の取り扱いが自分たちで行えるようになったことは、今後の可能性が広がりました。

今後は？

今後は、ガーデンテラスライオンさんから新作の依頼を受けており、その新作の完成を目指してプロジェクトとして活動していくと考えております。

「ものづくり企業」 魅力発信プロジェクト



本プロジェクトは、
家具産地とアパレルブランドを展開する企業を中心に、
「ものづくり」企業の魅力を学生に発信するものです。

スケジュール

- 5月 引継ぎ
6,7月 文献学習
8月 アボ取り・ヒアリング準備
9月 飛騨産業株式会社・飛騨家具フェスタ訪問
10月 織維・未来塾定期会合参加
11月 JFW Japan Creation 2019 訪問
12月 校内ゼミナール大会

「ものづくり」企業魅力発信プロジェクト

メンバー：9人（4回生1人、3回生5人、2回生3人）
立上げ：2016年（過年度引き継ぎ団体）
目標：製造業の国内回帰を促進するために、
これから社会で活躍してゆく学生に対して、
製造業に興味をもってもらうきっかけと
なることを目標としています。

活動内容

家具産地

- ・飛騨家具産地訪問
脚物家具の生産地域。地域の自然を生かした家具生産地を訪問した
- ・飛騨家具フェスタ
年1回開催される、飛騨家具によるライフスタイルを体感できるイベントを訪問
- ・飛騨産業株式会社社長インタビュー、工場見学
社長に直接アポイントを取り、インタビューを行った。また御厚意で工場も見学させていただいた。
- ・子どものための建築と空間展見学
朝日新聞社主催の、上記展覧会を訪問した。木製家具は日本において子供の成長・遊び・教育に好影響を及ぼしてきたこと、今後も木製家具の生産が必要不可欠であることを学んだ。

アパレル

- ・織維・未来塾定期会合参加
日本綿維機械学会が主宰する団体。日本の綿維企業に携わる方達の定期会合に参加させていただき、議論や塾長の歩んできた人生についてのお話を聞く中で、日本の綿維産業の可能性について知見を広げた。
- ・JFW Japan creation2019 訪問
日本製テキスタイルや皮革などの展覧会を訪問した。

・東京農工大科学博物館訪問

東京農工大に併設されている博物館を見学した。日本にとって綿維産業がどれほど重要であったのか、また日本の綿維産業の魅力について学んだ。



食にフォーカスを当て、 学生に地域の「美味しい」を もっと知る・楽しむ・発信してもらう

立命館大学 学びのコミュニティ集団形成助成金 2018年度 採用団体「yummy」



活動目的

- ・ 食から地域活性に貢献
- ・ 食を通じた異文化理解



活動背景

- ・ キャンパスがある地域とのつながりは「食」
 - 大学4年間を過ごす地域は第二の故郷と言っても過言ではなく、ただ過ごすだけではもったいない
- ・ 茨木市や草津市、衣笠周辺には、まだまだ私たちを含め学生が知らないたくさんの魅力

団体の特徴

- ・ 理系学生×文系学生のメンバー構成
 - 多種多様なメンバーが協働し、技術開発やマーケティングなど、お互い強みを活かして活動目標に挑む
 - B1からM1のメンバー
 - 情理、食マネ、経営、MOTのメンバー



アプローチ

インタビュー調査

- ・ ランチストリートにおけるインタビュー
- ・ キャンパス周辺におけるフィールドワーク

勉強会の参加と開催

- ・ 勉強会や交流会などに積極的に参加し、活動を通じて学んだことを他の学生に還元
 - 外部講師による技術勉強会の主催
 - Yahoo! JAPAN Mix Leap (技術交流会)
 - Yahoo! JAPAN Tech Conference (カンファレンス)



アプリケーションの開発

- ・ 地域の「美味しい」を学生が発信するアプリ
 - (実装済み)
 - ✓ 食堂などの営業時間情報
- ・ (今後実装)
 - ✓ 移動販売車やランチストリートの場所情報
 - ✓ ハラールやビーガンなどの理解
 - ✓ 食物アレルギーの理解



立命生のための食アプリ
見つけよう。食の楽しさ

QRを読み込んでアクセス
または [yummy](#) で検索!

[App Store](#) からダウンロード [開発中](#)



経験と課題

- ・ サービス開発の難しさを実感
- ・ 異なるキャンパス間におけるコミュニケーションの難しさを痛感

今後

- ・ 学内やキャンパス周辺をもっと巻き込んで、より良いサービスを作っていくたい
- ・ 他団体のコラボや他大学への展開を検討

文系と理系がリンクする ブンリンク



1.団体紹介



【団体名】ブンリンク

【設立】2018年

【所属人数】約30人

【代表】中村聰志

【キーワード】文理融合、キャリア

【活動内容】

文系と理系を掛け合わせ、幅広い知識を身に付けるために講演会や意見交換会などを開く。

2.ブンリンクとは

【団体理念】

文理問わず幅広い知識を身に付け、一人一人に合ったキャリア・ライフデザインを創る

その理念を達成するために活動しており、主に

- ・インプット
- ・アウトプット

に分けられる。

3.インプット

4.アウトプット

講演会の実施

株式会社
irodas 伊藤
尚輝さん
講演会



COLEYO Inc. 代表 川村哲也さん

演会



など

意見交換会

意見交換会とは、文系理系の学生が混じって「自分のやりたいこと」をピッチするもの。学部によって、視点が異なり、有意義な時間になることが多い。参加した学生も大変満足していると高評価であった。



防災共育サークルAttelle



株式会社リブにて防災イベントに参加
防災に关心のある企業の方が開催したイベントにお説明を受け、持ち出しぶくろプログラムを行いました。
初めて企業の方と活動をし、良い刺激となりました。
また、イベントを通してたくさんの笑顔を生むことが出来ました。



オリジナルの非常用持ち出しぶくろづくり
子どもたちに袋に自分の好きな絵を描いたり、スタンプを押してもらって世界にたった一つの非常用持ち出しがをつくりました。

自分の袋に愛着を持ってもらうことでいざという時の助けになればと思います。



笑顔あふれる「ぼうさい」を。
私たちは目の前のひとを笑顔にすることで大切なものを守りたい。

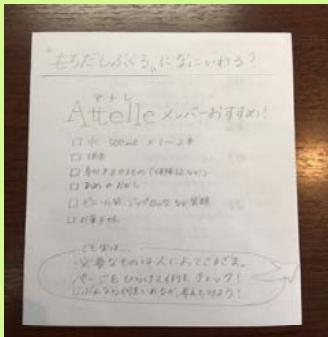
そんな思いで私たちは活動をしています。

中条地区防災訓練
応急救護訓練や水消火器による消化訓練、炊き出し訓練などいくつかの訓練が行われている中、そのうちの一つとして非常用持ち出しぶくろプログラムを行いました。

200人近くの方に参加をして頂き、大人数を相手とする際の課題も見つかりました。



「より実践的な防災」のために
今年度の新たな取り組みとして、持ち出しがに入れるもののチェックリストを作成し、配布しました。
このリストには、単純に入れるもの
が書いてあるのではなく、各家庭ごとに必要なものを考えてもらう工夫がされています。



今年度の活動と今後について

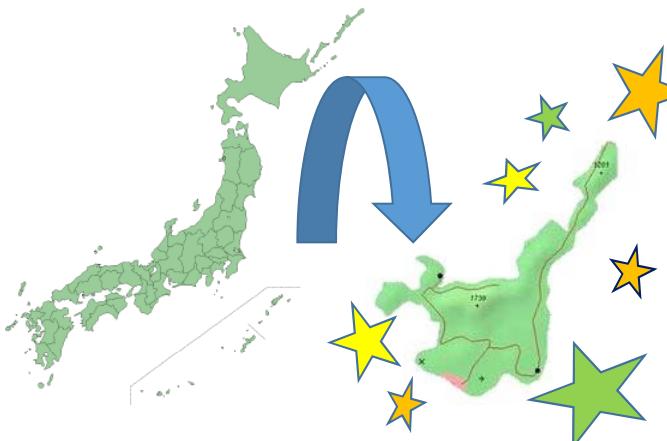
今年度は「より実践的な防災」をテーマに、防災を自分自身の問題としてとらえ、自分なりに考えてもらえるような防災の啓発を目指しました。

大阪北部地震の影響もあり、活動そのものの機会があり得られず、今年度の目標達成率はあまり高くないと感じています。

そのため、来年度も同じ目標の下で持ち出しぶくろプログラムの発展、左の写真のチェックリストの発展を目指すとともに、新たなプログラムの考案も進めていきたいと考えています。

また、今年度の活動から自分たちで積極的にイベントに参加するまたは企画することの必要性を強く感じ、来年度以降改善していきたいと考えています。

チームスマイルコミュニティ



活動拠点

石垣島・茨木市・丹波市

活動拠点を石垣島に増やし、活動目標である、「これまでつながることのなかつた人・地域を繋いでいく。」を軸に新たなつながりをたくさん築くことができました！



IN 茨木市

アジアンウイーク・いばらき立命館DAYに出展し、多くの方にご購入いただきました！！この「ビール楽しみにしてる」と多くの方に言っていただき、昨年からのつながりを継承することができました。



IN 丹波市
ビールの改良についての打ち合わせをしました！



TANBA

IN 石垣島

子供たちと触れ合い、私たちの活動を伝えることで、多くのつながりを得ることができました。おつまみも完成しましたが、今回は写真をあえて載せないので、みなさんぜひ、買いに来てください（笑）このつながりを無駄にしないように今後も活動を継続していきたいと考えています！！

活動を通して…多くのつながりを築いていく中でチームワークの重要性に気づくことができ、新しいことにチャレンジしていく姿勢が身についた。



今後は…このつながりをさらに強いものとし、新たなつながりを築きたい！